

- 中央本線 勝川駅
- 5 八幡社(柏井) 徒歩9分
- 6 名古屋市上水道 尾張広域緑道 徒歩7分
- 7 庚申堂と桂林寺 徒歩2分
- 8 慈眼寺 徒歩5分
- 9 油茂商店 徒歩13分
- 10 巡見道 徒歩1分
- 11 美玉さま 常夜灯(鳥居松) 徒歩1分
- 12 蔦屋 徒歩2分
- 13 春日井市立郷土館 徒歩2分
- 14 観音堂(鳥居松) 徒歩2分
- 中央本線 春日井駅

所要時間
約1時間
距離
約4.6 km

春日井の下街道ガイドマップ
勝川駅～
春日井駅 周辺



5 はちまんしゃ かしわい
八幡社(柏井)

下条村・上条村・松河戸村・中切村の総領守で、寛文11年(1671)に現在地に遷座しました。元禄12年(1699)社殿再建の模札があります。大正3年(1914)に宇前田の八幡社と宇北の神明社を合祀しました。



6 おわりこういりきょうくう なごやしじょうすいどう
尾張広域緑道/名古屋市上水道

下街道と斜めに交差する道は尾張広域緑道で、桜並木は春の風物詩となっています。緑道の下には大正3年(1914)9月給水開始の名古屋市上水道が埋設されており、木曾川から水を引き八田町の沈殿池を経て名古屋へ送られています。



7 こうしんどう けいりんじ
庚申堂と桂林寺

庚申堂(庚申寺)の本尊は青面金剛童子で、左手の観音堂に十一面観音像など26基が安置されています。寛文11年(1671)に入寂した上条村泰岳寺の遺禪和尚が、現在庚申堂の少し東にある桂林寺とともに建立しました。



8 じげんじ
慈眼寺

市内唯一の黄檗宗の寺で、尾張藩主の招きで現在の小牧市に開山した庚寺となり、その後当地で宝永6年(1709)に中興されました。山門は宗派独特の建築様式で、境内には他に、鐘楼門、地藏堂、弘法堂、緋荷社などがあります。



9 あぶらもしょうてん
油茂商店

江戸時代からの業種油屋で、明治末期からは味噌たまりの醸造も始め、昭和10年(1935)頃からは酒屋も営業しました。建物は切妻反葺2階建、白い漆喰壁の塗屋造りの重厚な店構えて近世末期の町家建築です。



B めいじてんのうじゅんこう かすがい
明治天皇巡幸と春日井

明治天皇が明治13年(1880)6月、京都巡幸の途上、下街道を通られ、30日には内津の長谷川定七家の離れ「沈流台」で小休憩、坂下の蔦屋寺で昼食、鳥居松の飯田重蔵家の離れ(現在の郷土館)で小休憩されました。それぞれの場所に石の標柱が建っていますが、建物が残っているのは郷土館のみとなっています。



10 じゅんけんみち
巡見道

巡見道は江戸時代、将軍の名代が村々を見回った道のことで、金物店の角から東へ八事通を越えて接常院の角までが下街道と重なっています。北は市役所の前を六軒屋町方面へ、南は熊野町(密蔵院付近)へ続きます。



11 てんのう じょうやとうりまつ
お天王さま/常夜灯(鳥居松)

堂には天王社、熱田社、秋葉社がまつられており、秋葉山文久2年(1862)と津島神社明治41年(1908)の刻字がある2基の常夜灯があります。堂は下原新田の集合所として使われていました。



12 つたや
蔦屋

江戸時代から酢の醸造や製油を扱う商家で、大正時代には酒・米・麦・肥料などを主に販売しました。建物は土蔵を改修した切妻反葺2階建の塗屋造りで、2階の窓は格子を塗り込めた「むしご窓」になっています。



13 かすがいしりつきょうどかん
春日井市立郷土館

酒造業飯田家の離れで、江戸時代末期に建てられました。中庭に市内にあった道標や横井也有の句碑があります。昭和48年(1973)に郷土館として開館しました。毎月第3土曜日9～12時に公開しています。*建物内入不可



14 かのんどう とりまつ
観音堂(鳥居松)

堂内に大正13年(1924)馬車組合が建立した馬頭観音や33体の仏を浮き彫りにした石碑があり、両側に8体の石仏がまつられています。敷地内には飯田重蔵(初代と二代)の石碑2基と下街道の案内板があります。

下街道と想定される道